

月刊ダウンロードガイド

Vol.23

最新のオンラインソフトをネットでGet

インターネットで入手できるホットなソフトをおよそ2年間にわたって紹介してきたこの連載も、今回で最終回を迎えることとなった。とはいえ、本誌では今後も注目のソフトウェアについては随時紹介していくつもりなのでぜひ期待してしてほしい。今後の優秀なオンラインソフトの登場に思いをはせつつ、今月も最新ソフトや定番ソフトを紹介しよう。

齋藤正穂(窓の杜)+編集部

複数サーバーに接続できる多機能IRCクライアント

にやるていあ

Ver.2.6 -R8 f5 Phase 8C



Jump www.katakuri.sakura.ne.jp/~kata/

作者名: team にやるていあ, kata
フリーソフトウェア

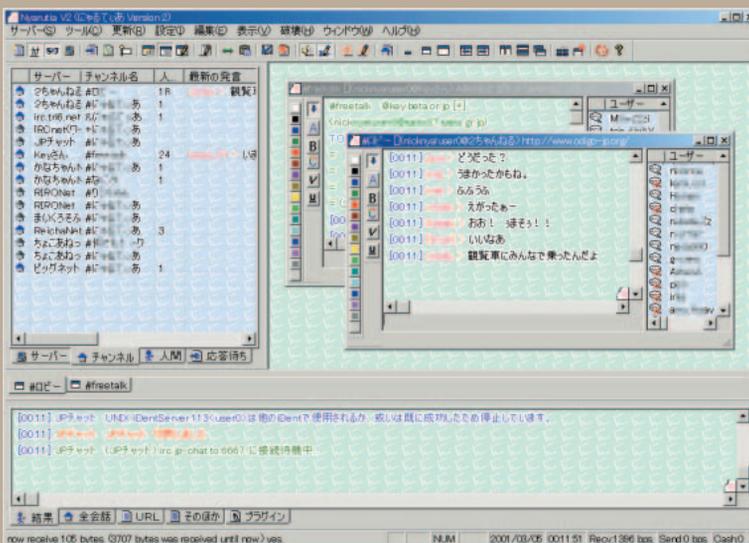
Win

「ココがポイント!」

- ・複数のIRCサーバーに接続してチャットできる!
- ・プラグインによる機能拡張が可能!

複数のサーバーに接続し、1つのウィンドウで一元的にチャットができるIRCクライアント。世界規模の“IRCnet”のほか、国内独自のIRC網がいくつか立ち上げられており、仲間内で楽しむために個人的にIRCサーバーを立ち上げている人もいるだろう。「にやるていあ」を使うと、そういった多くのIRCサーバーに同時に接続して、シームレスにチャットを楽しめる。サーバーに接続すると、画面の左側に接続しているサーバーと参加しているチャンネル、チャンネルにいるメンバーなどが一覧表示され、サーバーの違いを意識せずに一元的に管理できる。チャンネル名をダブルクリックすると右側にチャットのできるウィンドウが開き、複数のチャンネルを開いて同時にチャットすることも可能だ。また、各機能をプラグインで拡張したり、スクリプトでさまざまな動作を記述したりするなど、拡張性も高い。

(齋藤正穂)



チャットウィンドウはMDI切り替え。IRCサーバーはあらかじめいくつか登録されているので、インストールすればすぐにチャットに参加できる。

家庭内 LAN でスムーズにインターネット接続を共有する

WinGate

Ver.4.2.0



Get It!

Win

Jump www.wingate.com

「ココがポイント!」

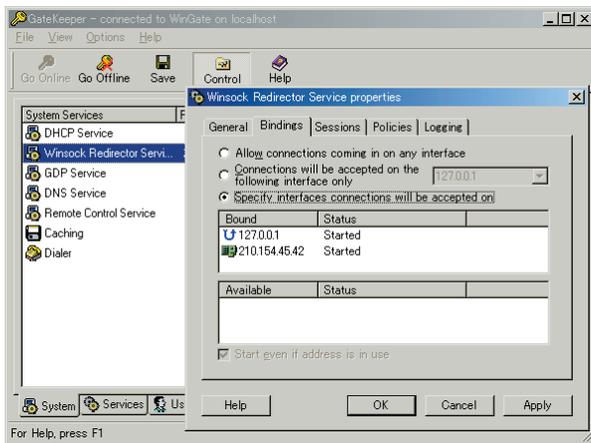
- ・クライアントソフトを使えばプロキシー設定が不要!
- ・NATでは動作しないネットワークゲームも動かせる!

家庭内 LAN でルーターの NAT 機能やプロキシーを使ってインターネット接続を共有している人も多いだろう。複数のパソコンからインターネットに接続できるのは便利だが、一部のアプリケーションが動作しなかったり、クライアントごとに設定が必要だったりして面倒だ。「WinGate」を使うとそうしたトラブルを解消できる。

配布元: Dearfield.com
シェアウェア (29.95ドル)

“WinSock Redirection” を使って通信

「WinGate」の最大の特徴は、“WinSock Redirection サービス”機能だ。TCP/IP を使うウィンドウズのソフトは、システムの一部である WinSock を通して通信を行う。「WinGate」は、WinSock 2.0 からサポートされた新機能を使ってソフトから WinSock への通信要求を専用のプロトコル “WRP” で LAN 内のサーバーに転送し、サーバーがその要求をもとに TCP/IP 通信を始めるという仕組みを使う。SOCKS プロトコルの汎用版とも言えるこの WRP は、クライアント側で動作するソフトの通信をサーバー側で行うため、そのサーバーがグローバルアドレスを持っていれば、NAT では動作しないソフトでも正常に動作する可能性が高くなる。ソフトを選ばず、面倒な設定も不要というのもありがたい。



サーバー版の設定画面。どのネットワークカードに結びつけて機能させるかを指定する。

英語が苦手なら日本語版がオススメ

最新版のバージョン4.2.0はまだ英語版しかないが、使われている用語自体は日本語でもカタカナで普段使っているものばかりなので、NAT やプロキシーを設置した経験のある人なら簡単に設置できるだろう。どうしても英語は苦手というのであればバージョン3.0.5日本語版 (Jump) を使おう。メッセージやヘルプなどがすべて日本語化され、ライセンス購入も日本円で可能だ。英語版に比べると NAT 機能が欠けているなどの差があるが、WRP はサポートしているので「WinGate」としての魅力は薄れない。またバージョン4.0日本語版のベータテストも行われているので、興味があれば試してみるとよいだろう。(齋藤正穂)

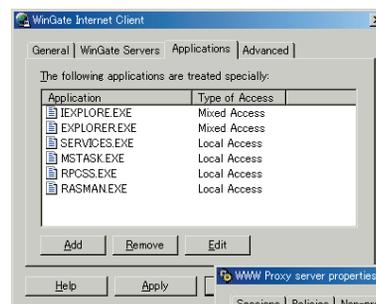
Jump www.technogroup.co.jp/wingate/

導入してみよう

ダウンロードしたアーカイブはサーバー版、クライアント版共用で、インストール時にどちらかを選択する。LAN カードを2枚差したゲートウェイや、TA やモデムでダイヤルアップのできるマシンにサーバー版をインストールしよう。ほかのマシンにクライアント版をインストールして再起動すれば、自動的にサーバーを見つけしてくれる。そのほかの設定は不要だ。サーバー側では NAT、Web、SOCKS などの各種プロキシーを使った共有もできるので、UNIX やマッキントッシュなどウィンドウズ以外のクライアントでもインターネット接続を共有できる。

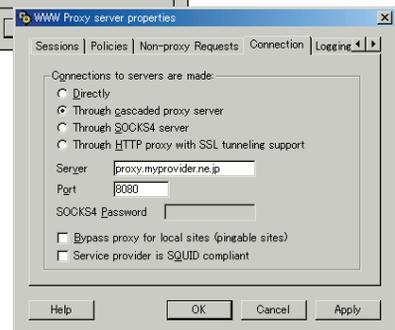


どのマシンのどのソフトがサービスを使っているかはひと目でチェックできる。



クライアント版の設定画面。強制的に WRP 経由にしたくないソフトを指定できる。

WWW プロキシーの設定画面。各種プロキシーやポートフォワード機能もある。



Get It!



マック用軽量ブラウザに新たな選択肢が登場

Opera Technology Preview (TP) Ver.1.0

「ココがポイント!」

- ・独自の操作感覚が使いやすい!
- ・レンダリングは超高速! 軽快感を満喫できる!

Mac

Jump www.opera.com

開発元: Opera Software
フリーソフトウェア
(正式版はシェアウェア化を予定)

ウィンドズではおなじみの軽量ブラウザ「Opera」, 広告表示されるものの全機能が使えるアドウェア版が昨年リリースされたのは記憶に新しい。その「Opera」のラインアップにマック版が追加された。プレビュー版なのでまだまだ使い勝手はいまひとつだが、マック版はiCabに続く軽量ブラウザ第二の定番として大いに注目したい。

ウィンドズ版と同じ思想が通うマック版 Opera

全体的なデザインはウィンドズ版の「Opera」よりむしろマッキントッシュ版のIE やネットスケープのほうに近い。しかしブックマークウィンドウを中心としたインターフェイスは健在で、独立したブックマークウィンドウを閲覧中のウィンドウのツールバーからワンクリックで前面に表示させる機能、そしてウィンドウ上部で各種メッセージを表示するところはウィンドズ版とそっくりだ。ツールバーの上部にはキーワードを入力してGoogleで検索する検索バーや、10パーセント単位で表示サイズを指定できるプルダウンメニューなど、ユーザーの使い勝手という点で独自性を打ち出していることがよくわかる。



ブックマークウィンドウはまさにOperaの起点だ。ブラウザウィンドウを開くにはブックマークをダブルクリックするか、「File」メニューから「New」を選択する。



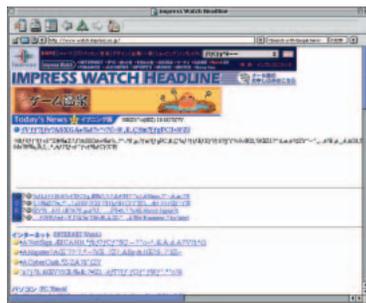
日本語表示はまだ不可能

起動のたびに「動作に関して発生した障害については保証しない」という注意書きが表示されるとおり、Operaはいまのところ「テクノロジープレビュー版」だ。実際に編集部で試してみたところ、基本機能については問題ないのだが、各種設定や特別な機能を使い出すとひんばんにバグが発生して終了してしまったり、また、残念なことに現バージョンは西欧語版なので日本語の表示は一切できない。日本語版のMac OSで使うと、メニューやメッセージのあちこちで文字化けを起こしてしまう。普段使うブラウザとして利用できるようになるにはもう少し時間が必要だ。

基本機能はバッチリ、表示速度は最高レベル

未完成であるとはいえ、その機能の充実ぶりには目を見はるものがある。現在のところ128ビット暗号化やSSLへの対応、CSS1 / 2やJavaScriptの実装などが済んでおり、ちょっと高度なCSSやJavaScriptなどを読み込ませても問題なく表示される。今後はブックマークやファイルの簡易アップロード機能などに開発の重点が移っていくようだ。なんといってもOperaの特徴は表示速度のすばらしさだ。これまで動作の重たいIEやネットスケープにへきへきしていたユーザーにとっては劇的とすら思えるだろう。今後の日本語対応など、開発の進捗に注目したい。

日本語ページを表示しようとすると、盛大に文字化けを起こしてしまう。表示性能を確かめるには英語ページを表示させてみよう。



(編集部)

FTPサーバーをドライブとしてマウントできる

ftpNetDrive

Ver.4.02



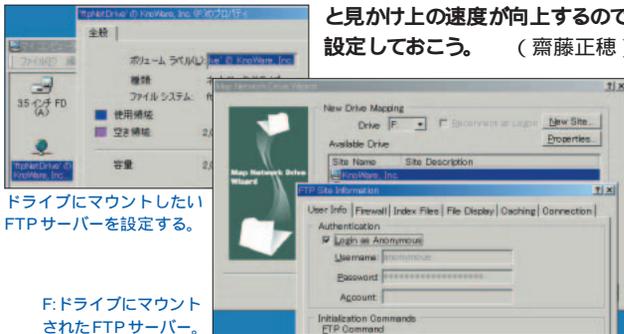
Jump www.knowareinc.com

KnoWare, Inc. / シェアウェア (29.95 ドル)

Win

FTPサーバーを自分のマシンのドライブとして使えるソフト。エクスプローラでハードディスクのようにファイル进行操作できるのももちろん、サーバー上のファイルを直接読み込んで編集できる。プロバイダーにある自分のホームページスペースや、オンラインソフトを公開しているAnonymous FTPサーバーをマウントすると、自分のパソコンのハードディスクのようにアクセスできるようになる。回線が細いと実用的な速度が出ないし、ダイヤルアップでの利用ではドライブにアクセスするたびに接続料金が発生してしまうが、キャッシュ機能を調整する

と見かけ上の速度が向上するので設定しておこう。(齋藤正穂)



ドライブにマウントしたいFTPサーバーを設定する。

F:ドライブにマウントされたFTPサーバー。

効果音付きのド派手なマインスイーパ

爆弾処理班 活動中!

Ver.1.1



Jump www.alpha-net.ne.jp/users2/rururuqu/

RRRQ / フリーソフトウェア

Win

ウィンドウズに付属する「マインスイーパ」に効果音を追加して画面を派手にした地雷よけゲーム。基本的なルールはマインスイーパとまったく変わらない。地雷源のマス目をクリックすると、隣接しているマス目に埋められた地雷の数が表示される。地雷が埋まっていると

らんだマス目に右クリックで赤い印を立てながら、地雷の埋まっていないマスをすべて踏めばクリアだ。ます目を踏んだり地雷が爆発したりする際にはビックリするくらいの効果音が鳴り、ドキドキ感を盛り上げてくれる。初級、中級、上級の地雷原が用意されているほか、地雷原の大きさは自由に設定できる。(齋藤正穂)

地雷を踏むと、まわりの地雷も誘爆して派手に吹き飛んでしまう。



割り当てが変わるIPアドレスの情報を外部から取得

Entrance PPC

Ver.1.1.0



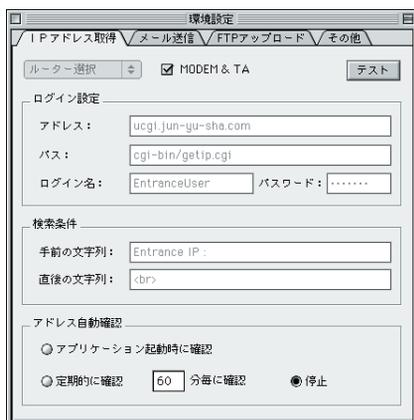
Jump www.ne.jp/asahi/jun-yu-sha/top/

田畑順視 / シェアウェア (1,200 円)

Mac

フレッツ・ISDNで接続している自宅のマックに、外出先からtelnetやFTPでアクセスしようとしても、IPアドレスの割り振りが変更されていてつながることがある。「Entrance」は、取得したIPアドレスをHTMLファイルに埋め込み、指定したサーバーにFTPで転送する。他人に知られたくない自分だけのウェブサーバーをフレッツで稼働させるのに最適だ。設定したメールアドレスにIPアドレスを通知する機能もあるので、携帯電話にメールを送って変更を通知するようにもできる。(編集部)

環境設定。MN128-SOHOなどのルーターには割り当てIPアドレスを表示する設定ページがあるので、このデータを利用してIPアドレスを通知する方法もある。



昼夜がわかる世界地図をデスクトップに表示

HourWorld Live Deskpicture

Ver.1.2.1



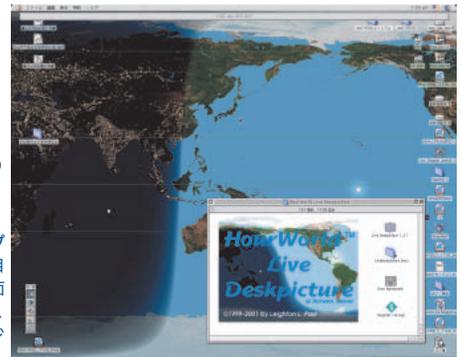
Jump www.hourworld.com/livedeskpic.htm

Paul Software Engineering / シェアウェア (20 ドル)

Mac

地球の昼夜の状態をリアルタイムに表示するソフト。起動するとデスクトップピクチャーが世界地図に入れかわり、昼夜の明暗が分けて表示される。この明暗は時刻の変化とともに更新され、画面の解像度に合わせて1ピクセルずつ変化していく。中心点はMac OS本体であらかじめ設定してある地域情報をもとに赤い十字マークで表示するが、好みの経度に応じて設定できる。人工衛星からの眺めを模した通常表示モード以外に、国別で色分けされた世界地図が表示されるモードも用意されているなど、オプションは豊富で、スクリーンセーバーとしても使える。(編集部)

いつも使うのならばアプリケーションを起動項目に入れておこう。画面は定期的に更新され、昼夜の移り変わりが少しずつ変化する。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp